

令和元年度 当新ブロック 研究計画

研究主題

健康について考え、心豊かに自分らしく生きる子どもの育成をめざして
～子どもによりそった養護教諭の執務のあり方～

主題設定の理由

子どもたちをとりまく環境は複雑になり、健康課題も多様化している。私たちはそのような環境の中でも子どもたちが自ら健康について考え、自分らしく生きていけることができるように様々な場面で取り組んできた。しかし養護教諭は多くは1校1名で、時に多面的な物事の見方ができなかったり、一人で悩みを抱えたりする。また、健康診断が行われる多忙期には改善の余地を感じていながらも、執務に追われ十分に具体的な検討ができない場合もある。

そのような実態から本研究では、日常実践交流のなかでも度々問題点としてあがったアレルギー対応について特化する。学校において食物アレルギーのある児童生徒への対応を行うためには、全教職員が食物アレルギーやアナフィラキシーショックについて正しい知識を持つ必要がある。そのために養護教諭は、家庭や関係機関と連携し実態把握・情報の共有に努め、他の教職員に食物アレルギーについての知識や対応について周知を図る役割を担わなければならない。また、子どもが自ら健康について考え、行動することができるような支援を行うことも、養護教諭の重要な役割である。これらのことから、アレルギー対応の在り方や問題点を整理し、子ども自身が考え、行動することができる養護教諭としての執務のあり方を探るために、この主題を設定した。

研究の仮説

1. アレルギーのある子どもの現状と課題を交流することにより、学校での体制や支援のあり方を明らかにする。
2. アレルギーに対する理解を深めることは、健康について考え、自分らしくすこやかに生きる子どもの育成につながる。

研究内容

1年次の内容（昨年度）

- ・各校のアレルギー把握の仕方、救急体制、事例検討など実践交流
- ・生徒や家庭への文書・保健指導など、情報発信の行い方について検討

2年次の内容（今年度）

- ・1年次の内容を深め、アレルギーのある児童生徒への保健指導や家庭との連携について、各校で実践する。
- ・進学時におけるアレルギーに関する学校間での円滑な引継ぎについて検討する。
- ・まとめ

研究方法

1. 全体で実践交流をはかる。
2. 理論、実技研のいずれか行う。